スマトラ行き (2)

I—M 生

○ 新嘉坡を九日の午後四時に出帆して，尙ほも，船は南へ向つて進んで行く．出帆後二時間程して，正に太陽が沒しやうとした時，突然船の方向が變つて，全く陸地の方に向つて進み始めた．驚いて注意してゐると暫らくにして，又た，元の方向に歸つた．こんなに沖に出てゐるのだから，暗礁等あるのでもなからう．理由がわからなかつたので，船長にお尋ねしてみたら次の樣なわけであつた．

船が緯度の相當高い地方に居る時，偶々，南北に延びたドック等に長い間入つてゐたりすると，船全體や，一本々々のマスト等，鐵棒が凡て磁性を帶びる樣になる．所が，船が赤道に向つて進むにつれて，此の磁性は失はれて來る．從つて南北へ航行する時は，此等の磁性が船の羅針盤へ與へる影響は甚だ複雜であり，且つ日々に變化する．だから羅針盤に依つて眞の方位を知る事は隨分面倒な事になる．此の羅針盤の狂ひの量は太陽の觀測から求める．それには太陽が水平線に極く近い時は簡單に求められるで，さつき行つたのであり，其の時向けた方向は，あと一時間程で達する新嘉坡島の南端に來た時から，船の取る可き方向であつたのだとの事であつた．

船中での暇間を利用して，觀測地點の緯度決定のために觀測する星を撰んでおく．既に新嘉坡で可成り詳しい地圖上から，大體の緯度は知れてるので，タルコット法が直ちに適用出來るからである．

○ やつと，スマトラ島のベラヴンデリーに着いたのが四月十一日の早朝である，見渡す限り，小高い丘もない大平原．凡ては熱帶植物で覆はれて，港に僅か數軒の屋根が見えるのみ．遠く奥地の彼方には數千尺の連山が，朝霧の中に模糊としてゐる．船の傍では海豚が戯れ，向ふの海岸には野生の猿がのそりのそりと歩いゐる．

和蘭政府を代表して，クノー氏が來られて觀迎の意を傳へられる．そして，同國政府の好意で，日食觀測豫の故を以て，稅關は何等調べず，且つ，

吾々の目的地たるブローラ村までの汽車の無賃乘車券をも呉れる等，鄭重な取り扱ひで痛み入る．又た，此處から二百粁の野村農園からは，土田氏が代表こしてわざわざ迎へに來られた．農園差し廻しの自働車三臺に分乘して，先づ二十五粁離れたメダン市へ向ふ．此れでは全く大臣の歸省みたいで恐縮する．

○ スマトラ島は日本本州の二倍の面積を有し，メダンは同島の北部東海岸での唯一の都會である．西洋館も勿論あるが，所謂文化住宅そつくりの型で，日本人に向きそうな家が可成り澤山あるのは目立つ．但し，何れも床が高い．濕氣を防ぐ爲めなんだそうである．

先づホテル・デ・ボオアに投宿．オランダ料理をジャバ人が給仕する．此處のポテトーは馬鹿においしい．まるで芋を上手に蒸かしたのこ變らない．尤も，和蘭人はポテトー許り多く食べるので，あんなに肥えるのだこの事．で，あたりを見廻はすこ，これはごうも，よくもこんなに肥えられたもんだこ感心せざるを得ない程，皆でぶでぶである．

日暮れ頃，浴場へ行く，全然湯がない．ごうもこんなに，行く先き先きで浴場の樣子が變るこ，入浴する丈でも，なかなか考へるのに骨を折る．栓を捩じるこざあつこ頭から水が落ちて來る樣になつてゐる．實にいゝ氣持だ．あこが涼しくつて，馬鹿に氣に入つたので寢る前にも一水浴びる．暑さを凌ぐ唯一の方法は此れである．此れに限る．

日中の暑さこ來たら又た格別である．大抵十一時から午後二時までは，何處も店を閉めて午睡を取る事になつてゐる程である．併し夕方，五時頃からは散歩する者で通りは一ぱいになり，各廣場では，若い者も老人も，フツトボールやテニスに熱中してゐる．日中の怠惰な氣分に引きかへ，夕方の活氣，殊に運動熱の盛んなのには一驚を喫する．

○ 夜の十時になつても蒸暑くてたまらぬ．室のドアを開けつ放しにしておくこ，風の爲めにごたんこ閉つて了ふ．幾度開けこいても閉るので，遂に面倒になつて閉め切りにして置く．こ．電話が懸つて來た．先生の室から御用事でもあつてだらうこ出て見るこ，女の聲で「ハロー」こきた．あこは英語でぺらぺら早口である．何かの間違ひだらうこ，ぼんやり聞いてゐ

るこ,「戸を靜かに閉めて呉れ，やかましくつて寢られないから」こ言ふわけ．呆氣にこられてゐる內，電話は切れて了つた．癪に障るやら，赤面するやら．あこで知れたのだが，隣の室からの電話であつた．これで．赤毛布式の一番槍は私が名乘りを擧げたわけだが．あまり功名にもならない．兎に角，こんな窮屈な所には，こても吾々は住めそうにない．早く出發し度いものだ．

十二日は日本領事館を訪ねたり，買物や見物で一日を過す．夕方郊外をドライブする．チークの林や煙草の農園が限りなく續いてゐる．此を終つて，三井物產の船木氏御宅で日本料理の御馳走になる．愈々最後の目的地野村農園へ向つて，此處を出發するのは明朝八時．

○　メダンを出發してから小一時間も走つてゐるのだが，見渡す限りは煙草の農園である．實に廣大なものだ．聞くこころに依るこ，メダン市を中心こして四方へ自動車で一時間行程，卽ち四十粁近くの半徑の圓內は，殆んご煙草農場ばかりだそうである．そして此れを七區分して，或る一年には一區分丈け使用して，他の土地は遊ばせておく．斯うして順々に，每年違つた土地を用ひて七年後に始めの土地を再び耕すのだこは，理想的な栽培法かは知らぬが，土地の狹い日本等では，思ひもつかぬ贅澤さである．

道路の立派なのも羨ましいものの一つ．自動車の速さは八十粁を出す事もあるのに，殆んご動搖を感じない．市街から隨分遠い所までアスフアルトが敷いてあるので素的に氣持がよい．一體，和蘭政府が植民地に，先づ一番に施設するものは道路だそうである．それ丈けに，手も行きこゞいてゐて愉快な旅行をする事が出來る．

チークの林が盡きる頃から，ゴム樹の林が始まる．其の合間々々には椰子の木が點在してゐる．夢中になつて，次々に過ぎ去る珍らしい景色にみこれてゐる內に，ひごい土煙に包まれて了つた．さつき．アスフアルトを敷く工事中の箇所を通つたが，それ以後は普通の道路になつた爲めであり，先生方の乘つてゐられる前の車もえらひスピードで走つてゐるのだから，それが上げる土煙も大したものである．此處ぞこばかりに早速運轉手に「ジヤラン，プランプラン」こ，こつこきの馬來語で命じたが通じない．相

變らず前の車にくつ付いて走る．その内，タイヤの手入れに停車したので，やつと生氣付く．誰を見ても，髪や眉毛が眞白で，まるでお爺さんみたいな顔になつて了つてゐる．おまけに，「やれやれ，ごつこいしよ」と車から下りて腰をのばすに至つては，そつくりだ．二百粁を六時間で走らうと言ふのも，なかなか樂じあない．

午後一時近く，ランサ町へ着き，ホテル・ペンシヨンエンマで中食を取り，一時間許り休息する．メダンから此等までは東海岸に沿ふて北上して來たのであるが，此れからは奥地に向つて進む事になる．

愈々目的地，野村農園の支配人邸前に車を停めたのは，三時を少し廻つた頃であつた．先生御夫妻並びに上島，中村兩氏は支配人お宅へ，宮澤氏と小生とは土田氏お宅へ，夫々分宿させてもらふ事になる．夕刻，支配人宅で，吾々一行觀迎のテイ・パーティが開かれ，農園に居られる方々も集まられ，暫らく談笑する，夕飯は乾，佐藤兩氏に招かれて日本料理の御馳走になる．

夕方は可なり濃い雲であつたが十時頃にはすつかり晴れて，まばゆい許りに星が輝き始めた．併し夜が更けるに從つて，全く霧に包まれて了つた．小高い丘に上つて見ると，まるで一面，海かと思はれる程で，所々の丘の頂のみが，島の樣にぽつかりと黑く浮き出してゐる．

翌十四日に觀測點は支配人宅の裏山と決定された．此の農園の地勢は，臺地ではあるが，特別に高い山はなく，丘陵がごこまでも起伏してゐる．其の内で最も小高い丘が支配人宅の裏山である．從つて此の裏山からの見晴らしは非常によく，只，僅かに北方の地平線が近くの林のために見難い丈であつて，殊に南と西とには眼を遮る何物もなく，萬古斧鉞の加はらないジヤングルが重疊として靄の中へ續いてゐる．スワースモアやボツダムの隊の居るタケゴンの空はあの邊か，西方かすかに山影を認める．

十五日からは，農園のクリーを廻してもらつて，觀測地點の地均や，邪魔になる樹木の切り倒しが始まる．さて斯うなると折角の馬來語もあまり實用にはならない．愈々となると凡て手眞似，數字位ひがやつと言へる丈である．それでクリーの指揮者としては農園の方に來て頂く．

一體，此の邊のクリーは至つて早起きで，ごんな怠け者でも朝五時には必ず起きてゐるこはちこ耳の痛い話．尤も考へてみるこ，年中夏の氣候で朝夕は丁度六時に太陽が出沒する事が一年中定まつてゐる此の地方では，一年中で最もよい氣候こ言ふのは，取りもなほさず一日での最も氣持のよい時であり，從つてすがすがしい氣分の味はへる朝の五時頃から二・三時間の間こ言ふ事になる．だから早起きになるのだこ言ふ，小生一流の屁理屈の結論が出て來る．又た，此の邊では大體に於いて，朝六時が日出で夕六時が日沒こ定まつてゐるので，クリーは太陽の高さを見て時間を判斷する由で，三十分こ間違はないそうである．

早や起きの割りに，怠ける事はいたつて上手なクリーで，從つて仕事はなかなか着々こしては進まない．

併し農園の方の熱心な指揮に依つて，十九日からは，コンクリートの臺の上に天文經緯儀を置いて，時間及び緯度の觀測が出來る程になつた．ラヂオの方は，アンテナが張られたのであるが，ごうした事か何も聞えない．大いに心配して色々にやつてみたがごうしても駄目．遂に器械を分解してみたが，別に故障の箇所もない．それで組み立てゝみたら，よく聞こえる樣になつた．分解組立ての操作の内に，無意識にゆるんでゐたねぢても緊めたのだらう．心配してゐた丈けに，カビテ局からの T.I.M.E なる報時準備信號を聞いた時には飛び上る程うれしかつた．

斯くして觀測準備は着々こして進み，凡ての器械は裝置され，寫眞焦點の決定や，時計仕掛運轉の良否も檢査される．時間の觀測も連續して行はれ，緯度や經度も觀測されて，日食時の計算も出來た．只，殘されたのは，當日の天氣具合が心配になる丈こなつた．

かうして毎日毎夜働いてゐる間には．農園の日本人の方々が慰勞の意味で，度々吾々一同を日本料理に招待して下さつたのは非常に有り難かつた．

殊に，九月一日には吾々若黨連中は，農園の方の御案内で，ジャングルの中を流れてゐる，鰐の住むこ言ふ河を，丸木船に乘つて溯航した．猿や猩々，九官鳥，ホーンビル等の鳥や獸が自然のまゝに生活してゐるさまを見ては，ほんこに南洋に來たな，こ言ふ感じがした．